



第 11 回
外国語教育の未来^{あす}を拓く
～複言語教育の時代を創るためのヒント～

【午前の部】

◆分科会◆

研究発表 複言語・多言語教育の取り組み 一教員の実践力を伸ばすために一

分科会 1：複言語・多言語教育の教員資格と教員確保の問題改善を目指して

分科会 2：複言語・多言語教育の普及モデルとしての教育実践を目指して

分科会 3：DX 時代における複言語・多言語教育の教育実践を目指して

【午後の部】

◆基調講演◆

「先生も たくさん学ぼう 外国語！」

黒田 龍之助(神田外語大学特任教授／神戸市外国語大学客員教授)

◆パネルディスカッション◆

「JACTFL の過去、現在、未来」

日 時：2023 年 3 月 12 日（日）10：00～16：30

会 場：上智大学四谷キャンパス 6 号館

<https://dept.sophia.ac.jp/is/solific/>

一部ハイフレックス（Zoom）で実施

主 催：一般社団法人日本外国語教育推進機構（JACTFL）

上智大学国際言語情報研究所（SOLIFIC）

☞ 実施概要

開催趣旨：

本シンポジウムは、さまざまな外国語教育の関係者が一堂に会し、外国語教育の未来を拓くための具体策を練り、それを実現するための機会としている。2013 年からこの間、多言語、複言語に対する世間の関心、多様な外国語教育の実践、ネットワークは少しずつではあるが、進んできている。

2013 年の第 1 回シンポジウムから「外国語教育の未来を拓く」というテーマを掲げ、本シンポジウムは行われてきた。国内外のさまざまな外国語教育の関係者が一堂に会する本シンポジウムにおいて、私たちは、日本における多言語・複言語教育の未来を拓くための具体策を練り、意見交換する場を毎年継続して提供してきた。また、多言語・複言語教育を促進するために、多方面にわたる関係者に具体的な提案を行い、粘り強く働きかけを行ってきた。その甲斐もあり、この数年間で多言語・複言語に対する世間の関心、多様な外国語教育の実践、外国語教育に関わる者同士をつなげるネットワーク、そして、多言語教育推進事業は、手応えを感じる進展を見せている。

本シンポジウムは 3 年ぶりの対面開催となった。第 9 回・第 10 回記念シンポジウムは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策として Zoom を利用したオンライン開催とした。教育行政機関をはじめ、各方面の有識者と教育関係者とともに、複数外国語教育の基盤を創るために、JACTFL として今後どのような活動の可能性があるのかを考えるきっかけとなれば幸いである。

☞ 実施体制

特別協力：一般財団法人日本私学教育研究所、公益財団法人国際文化フォーラム

後援：文部科学省、外務省、東京都教育委員会

参加者：幼小中高大の外国語教育・国際理解教育・異文化間コミュニケーション等の教育関係者、
教育行政機関関係者、学校の管理職、企業関係者ほか 150-200 名

参加費用：JACTFL 会員/無料、一般/1000 円（会場整理費）

🍷 プログラム

9:30～ 受付開始

【第1部】 対面及びオンライン（Zoom）で実施 410、409、408 教室

Zoom URL:事前にメールにて参加者に通知します。

◇10:00～11:30

研究発表 「複言語・多言語教育の取り組み—教員の実践力を伸ばすために—」

◆分科会 1 複言語・多言語教育の教員資格と教員確保の問題改善を目指して

司会進行：大森 洋子（明治学院大学）

10:00～ 「高等学校の多言語教育の現場における教員資格を概観する」
山下 誠（神奈川県立麻生総合高等学校）
水口 景子（公益財団法人国際文化フォーラム）

10:30～ 「高等学校の多言語教育現場での教員確保—現行制度の活用—」
水口 景子（公益財団法人国際文化フォーラム）
山下 誠（神奈川県立麻生総合高等学校）

11:00～ 「中国の新高等学校学習指導要領における外国語科に関して」
楊 晶晶（大阪大学大学院）

◆分科会 2 複言語・多言語教育の普及モデルとしての教育実践を目指して

司会進行：能登 慶和（獨協医科大学）

10:00～ 「4言語（仏・露・中・韓）共同プロジェクト
—北海道札幌国際情報高等学校におけるオンライン交流例—」
武井 由紀（名古屋外国語大学）
依田 幸子（北海道札幌国際情報高等学校）

10:30～ 「『逆向き設計』に基づいた指導案作成・授業実践（埼玉県立坂戸高等学校・スペイン語）」
和田 瞳（上智大学大学院）

11:00～ 「横浜市立みなと総合高等学校の多言語活動の取り組みについて」
温 悠（横浜市立みなと総合高等学校）

◆分科会 3 DX 時代における複言語・多言語教育の教育実践を目指して

司会進行：野澤 督（大東文化大学）

10:00～ 「バーチャルツールズ開発を活用した留学生による協同学習の成果と課題」
杉江 聡子（札幌国際大学）10:30～ 「複言語共通語彙テストの実施と考察
－名古屋外大の複言語プログラムに関連して－」
大岩 昌子（名古屋外国語大学）11:00～ 「メタバースプラットフォーム「ENGAGE」を用いた授業の試み」
大前 智美（大阪大学）
北岡 千夏（大阪大学）

◇休憩 11:45～13:00

【第 2 部】 410 教室

◇13:00～13:30 対面及びオンライン（Zoom）で実施

開会・挨拶

山崎 吉朗（JACTFL 理事長/日本私学教育研究所特任研究員）

岡田 隆（上智大学術研究担当副学長）

浅原 寛子（文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 外国語教育推進室長）

司会進行：郷司 雅子（埼玉県立坂戸高等学校）

◇13:30～14:30 対面で実施

基調講演 黒田 龍之助(神戸外国語大学特任教授／神戸市外国語大学客員教授)

「先生も たくさん学ぼう 外国語！」

講演者紹介、司会進行：臼山 利信（筑波大学）

外国語教育が英語だけに偏ってはいけない。日本には英語以外の外国語教育の専門家がたくさんいて、日々研究に勤しんでいる。そちらにも目を向けてもらいたい。ところがその専門家にしても、そのほとんどがロシア語とかフランス語とか中国語とか、単一外国語の世界で生きているのではないか。

多様な外国語教育を目指すのなら、教師自らが多様な外国語を学んでほしい。生徒にばかりたくさん学ぶことを奨励しても、自分が専門とする外国語と英語しか知らないようでは、どうも説得力に乏しい。

それでは英語以外の外国語教育の専門家は、どうやって「その他の外国語」を学ばばいいのか。そもそも、どの外国語を選ばばいいのか。

この基調講演では「教師自ら学ぶ多様な外国語」の方法を考えていく。とくに教師自身が専門とする外国語で別の外国語を捉える方法を、講演者自身の体験を交えながら探っていきたい。

◇休憩 14 : 30～14 : 45

【第3部】 対面及びオンライン (Zoom) で実施 410 教室

◇14 : 45～16 : 15

パネルディスカッション JACTFL の過去、現在、未来

司会進行 : 神谷 善弘 (大阪学院大学)

◆10周年のアンケートから見る JACTFL

中野佳代子 (JACTFL 副理事長)

◆JACTFL の過去、現在、未来

登壇者

山崎吉朗 (JACTFL 理事長/日本私学教育研究所特任研究員)

境一三 (獨協大学特任教授, 慶應義塾大学名誉教授)

茂木俊浩 (光塩女子学院初等科教諭)

◇16 : 15～16 : 30

閉会・挨拶 山崎 吉朗 (JACTFL 理事長/日本私学教育研究所特任研究員)